

みんなで走ろう！自然と水のふるさと「川内高原FUNラン」開催

11/14.15(土・日)

川内村の魅力満載！ ランニングイベント

昨年11月14日、15日の2日間にかけて「みんなで走ろう！自然と水のふるさと川内高原FUNラン」を開催しました。

昨年の3月に行いました「ランナーズヴィレッジ」に代わり、今回新たに開催した川内高原FUNランではほぼ定員の応募がありました。2日間とも天気に恵まれ、皆さんとても気持ちよさそうにランニングを楽しんでおられました。

今回の川内高原FUNランでは、1日目と2日目に分けて川内の郷かえるマラソンのハーフコースを走りました。

「走る」×「食べる」×「体験」×「泊まる」をパッケージとしたイベントであるため、ランニングだけでなく、村内のあらゆる施設の見学や体験をすることの魅力を発信することができたことで交流人口の拡大に一躍を担いました。今後も計画的に進めていきたいと思います。ぜひ一度参加してみてください。



▲ランニングのほか、野菜の収穫やそば打ちの体験なども行いました。

「かわうち酒宴〈さかもり〉会」交流会 10月30日発足

12/12(土)



◀かわうち
ワインセミナー



野菜工場KiMiDoRi
視察の様子▶

第二回目交流会実施は12月12日に実施

昨年10月30日に設立した「かわうち酒宴〈さかもり〉会」は、これまで二回の交流会で親睦を深めました。

第二回目の交流会は、会員19名の出席のもと12月12日に開催しました。

日程としては、野菜工場KiMiDoRi視察、株式会社農（みのり）いちご工場視察、田ノ入工業団地視察、ふくしまワインセミナー、蕎麦酒房「天山」での交流会という流れとなりました。総会後から入会者も増え、川内村を愛し、酒を愛する会員の親睦がより深まる会となりました。

高田島ふるさと支え合い協議会

高田島の郷土料理教室や見守り活動で 地域活性化をはかる！



▶地域民と福大生交流会



▲郷土料理教室



▲高齢者見守り活動

高田島ふるさと支え合い協議会では、かわうちラボや福島大学の共催のもと、地域の見守り活動を通して地域の交流を活発にするため、第2回目となる「地域の特産品開発のための勉強会」を11月8日（日）に第1区集会所で開催しました。

福島大学食農学類の河野恵伸教授の講演のあと、集まった区民35名で特産品のワークショップを行い、地域でとれた手打ちそばを堪能しました。

さらに第3回目は、12月12日（土）に「郷土料理教室」と「見守り活動」を展開し、早朝から婦人会の皆様が地元の食材を使って郷土料理として「高田島ひらや田樂いも、高田島漬」などを作り、地区民や福島大学の学生約30名で試食しながら交流を深めました。その後、坪井利一會長など役員が、地域の一人暮らしを訪問し、今後も継続して地域全体で高齢者世帯の見守り活動を行うことで一致しました。



▲特産品開発ワークショップ

追悼の花火in KAWAUCHI(10年目の節目)

震災でお亡くなりになった皆様の追悼の花火

東日本大震災から10年目の節目となる令和3年3月11日の18時から約5～10分間、双葉郡8町村同日同時に追悼の花火の打ち上げをすることとなりました。

この花火を上げることによって、3.11を風化させないこと、福島県の復興状況を多くの方に知っていただくこととしており、また、お亡くなりになった皆様へのご冥福と医療従事者への感謝を込めて青色の花火となります。

村では、村総合グラウンドからの打ち上げとなりますので、村民の皆様は役場近辺の駐車場等を利用してご覧ください。

なお、防災無線において打ち上げ時間を改めてお知らせいたします。



空き家・空き地バンクについてのお知らせ

空き家・空き地の調査結果について

かわうちラボでは、川内村への定住人口を拡大するため空き家・空き地バンク事業を村から受託し、現在、展開中です。

そこで、村内には何件の空き家・空き地があるかを昨年10月から各行政区長さんに調査をご依頼し、その結果116戸の空き家があることがわかりました。

今後、持ち主の皆様のご同意のうえ、宅建業者と連携しながら調査をさせていただき、少し手を加えることによって居住できる環境ということになれば、是非、ご提供いただきたくお願ひいたします。

そしてかわうちラボのホームページで村内外に情報を発信しながら、ご提供者の所得拡大と空き家・空き地の有効活用を図っていきたいと思いますのでご協力ををお願い申し上げます。



■お問い合わせ先■

一般社団法人かわうちラボ
☎0240-23-7040



▲現在登録中の清水洞の空き家

行政区	空き家	空き地
第1区	9	
第2区	6	
第3区	25	
第4区	7	
第5区	22	
第6区	27	5
第7区	15	
第8区	5	
計	116	5

ふる里かわうち会の活動について

ふる里かわうち会の会員皆様への情報発信と首都圏避難者との交流会開催

ふる里かわうち会の事務局を担うかわうちラボでは、会員の皆様に定期的に情報を発信していくため、昨年10月に定期総会中止のお知らせとあわせ、往復はがきでメールアドレス調査を行いました。

その結果、会員420名のうち183名の皆様から回答がありました。また48名はて所に尋ねあたりませんと戻っていました。

会員の皆様でまだ回答がされていない方は、すみやかにご回答お願い申し上げます。はがきが届いてない場合は、事務局までその旨をお知らせくださいませ。

また、同会では避難者の帰還促進を狙いとして、去る11月3日（文化の日）に首都圏避難者との一堂に会する交流会を川内村長や副村長、住民課長、それに岩本泰典コドモエナジー社長をお招きして、東京の居食処「かわうち」で開催しました。これには久保田則男会長はじめ役員6名と避難者7名が参加しました。

最初に久保田会長が歓迎のあいさつを述べ、遠藤村長からは「復興と現在のむらづくり」のご講演、さらに岩本社長からは「川内村への熱い思い」を語っていました。その後一人ひとりの自己紹介しながら交流を深め、そして「川内村が元気である！」ことをアピールするとともに、限りなく発展することを誓い合った交流会となりました。



▲避難者との交流会

焚火を囲んで贅沢 グランピング体験♪

川内村では、若者の定住促進をねらいに婚活イベントとして「来い・恋かわうち交流大作戦」を毎年展開しております。

▼グランピング会場の様子



今年は昨年に引き続きむらづくり会社であるかわうちラボが受託し、去る11月28~29日の両日、いわなの郷キャンプ場で実施しました。

特に今年はコロナ禍のなかで三密に気を配りながらこれまで展開したことのない優雅で幻想的な空間のなかで男女の出会いを求め「グランピング」という形で企画し、村内外から男女10名の若者の皆さんのが参加して盛大に繰り広げました。

この日は、婚活イベントのインストラクターがグランピングを盛り上げ、参加した男女の皆さんと一緒にゲームやピザ作りなどを楽しみました。

また日没後には焚火を囲みながら、豚汁を食べたり歌を歌ったり、時にはお月様も花を添えていただき、自然豊かな川内村の晩秋の魅力をいっぱい伝えるイベントとなりました。

参加者の皆さん、お疲れさまでした。

「川内の郷かえるマラソン」についてのお知らせ

第6回川内の郷かえるマラソン大会は9月下旬開催を検討中

交流人口拡大と地域の活性化を狙いとして平成28年から始めた本村最大のイベント「かえるマラソン大会」は、毎年4月下旬に開催していましたが、昨年から新型コロナウイルスの感染拡大の中で、令和3年の第6回大会は4月下旬を延期し、現時点では9月下旬の開催を検討しております。

現在、首都圏を含む10都府県に緊急事態宣言が発令中であり、解除後に状況を見極めながら実行委員会を開催し、実施時期や募集人数、さらに感染予防対策など提案し、具体的に決定をしていきたいと思います。

今後のかわうちラボホームページで順次、情報を発信していきます。

「かえるの郷トライアスロンINかわうち」についてのお知らせ

かえるの郷トライアスロン IN かわちは7月11日開催予定

第3回目となる「トライアスロン大会」は、福島県トライアスロン協会の全面的な協力を受けて、現時点では7月11日（日）かわうちもりたろうプールを中心に開催する予定です。

これもコロナ禍の中で、実施方法を検討しながら、来る5月頃に実行委員会を開催し、詳細を検討してまいります。マラソン同様に、かわうちラボホームページで情報を発信してまいります。

発行者・お問い合わせ先



一般社団法人
かわうちラボ
—未来を描く—

住所：福島県双葉郡川内村大字上川内字町分 282-6

TEL 0240-23-7040/FAX 0240-23-7048

ホームページ：<https://www.k-labo.or.jp/>

facebook

instagram

